令和3年度補正予算 省エネルギー投資促進支援事業費補助金 省エネルギー量計算の手引き 【指定計算(コンデンシングユニット) (冷凍冷蔵ユニット)】

本事業は、一般社団法人環境共創イニシアチブが代表幹事として大日本印刷株式会社との共同事業体で執行する事業です。

2022年3月



DNP 大日本印刷株式会社

本書は、令和3年度補正予算「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金」(以下、「本事業」という。)における省 エネルギー量計算の考え方や注意点等を説明したものです。

■更新履歴

No.	版番	更新日	更新ページ	更新内容
1	1.0	2022/3/3	-	新規作成

省エネルギー量計算の手引き 【指定計算(コンデンシングユニット)(冷凍冷蔵ユニット)】

本書について

はじめに			
	交付申請全体の流れと、本書の位置づけ	•••••	Р.З
	<参考>補助対象設備区分と設備区分毎に定める基準表	•••••	Ρ.4
第1章	計算方法の概要		
1-1	コンデンシングユニット・冷凍冷蔵ユニットの指定計算に関する 基本的な考え方について	•••••	Ρ.6
1-2	計算方法(指定計算/独自計算)の選び方	•••••	Ρ.6
1-3	指定計算で算出可能な更新パターン	•••••	Ρ.7
1-4	指定計算を選択できない条件	•••••	Ρ.7
1-5	計算時の注意事項	•••••	Ρ.7
第2章	ポータル登録について		
2-1	既存設備の登録	•••••	Ρ.9
2-2	導入予定設備の登録	•••••	P.11
2-3	稼働条件の登録	• • • • • • • • • •	P.13
第3章	必要添付書類		
3-1	必要添付書類	••••••	Ρ.16
第4章	設備種別毎の計算式と使用データについて		
	<参考>コンデンシングユニット・冷凍冷蔵ユニット用計算式と使用データ	• • • • • • • • • •	P.18

交付申請全体の流れと、本書の位置づけ

本事業への交付申請にあたっては、以下に示す各手順を追って交付申請書を作成し、提出する必要があります。 本書は、以下の手順のうち「補助事業ポータル 省エネルギー量計算」について、考え方や注意点等を説明したものです。 それ以外の手順については、別途公開の「交付申請の手引き」を参照してください。

交付申請全体の流れ



省エネルギー量計算の流れと本書で説明する内容について

補助事業ポータルでの省エネルギー量計算の流れは、以下の通りです。本手引きでは該当設備の計算方法の概要と、 設備情報、及び稼働条件のポータル登録方法について説明いたします。ポータル登録方法の全般に関しては、「(別 冊)補助事業ポータル」をあわせてご確認ください。



<参考>補助対象設備区分と設備区分毎に定める基準表

以下の基準値を満たす設備が補助対象です。補助対象設備であるか、事前にご確認ください。

冷凍冷蔵設備(コンデンシングユニット、冷凍冷蔵ユニット)

> 対象設備の基準値

13 DI	性能区分	基準値	
作生方」	蒸発温度/庫内温度 ※2	成績係数 ※3	
フィコンデンシングコールト ツイ	蒸発温度 -10℃	1.33以上	
7-4.Jノテノシンクユニット ※1	蒸発温度 -40℃	0.57以上	
	庫内温度 10℃以上	1.30以上	
	庫内温度 5℃	1.23以上	
7-5.冷凍冷蔵ユニット ※1	庫内温度 0℃	1.17以上	
	庫内温度 -20℃	0.62以上	
	庫内温度 -25℃	0.60以上	

<備考>

 ※1 JIS B 8623:2002における試験方法で規定もしくは測定された、容積形圧縮機と水冷式又は空冷式 (リモート式を含む)凝縮器並びに受液器などの附属機器からなるコンデンシングユニット及び、コンデンシング ユニットの派生製品である冷凍冷蔵ユニットで、インバーター方式又は、5 段階以上の容量制御が可能であること。
 ※2 複数の性能区分に対応する設備の場合は、基準値を満たすいずれかの区分での申請であること。

※3 各蒸発温度(吸い込み圧力に対する飽和温度)又は庫内温度における、冷凍能力を消費電力で除して算出した数値。

■その他の注意事項

• 冷媒にオゾン層を破壊する物質が使用されている設備は補助対象外とする。



1-1 コンデンシングユニット・冷凍冷蔵ユニットの指定計算に関する基本的な考え方について

コンデンシングユニット・冷凍冷蔵ユニットの指定計算に関する基本的な考え方について ※計算式はP.17以降を参照してください。

既存設備、導入予定設備のエネルギー使用量ともに、定格消費電力と稼働時間と負荷率を用いてエネルギー使用量を 算出します。

1-2 計算方法(指定計算/独自計算)の選び方

下表を参考に、計算方法を確認してください。なお、本手引きでは赤枠部分に関する詳細を説明しています。

計算方法	選択基準	計算に関わるポータル入力項目		
	補助事業ポータル内の自動計算機能を利用して省エネルギー量 を計算する方法 ・ SIIが指定する計算式を使用 ・ 稼働時間は、常時稼動している(24h×365日=8,760h)として 自動設定	既存設備	・定格消費電力 ・インバータ制御有無 ・負荷率(INVの場合)	
指定計算	 ・既存設備はカタログ・仕様書の性能値を使用してエネルキー使用 量を算出 ・導入予定設備の性能値は、製品型番登録された値を使用 ・選択された温度帯(蒸発温度・庫内温度)の能力値で省エネル ギー量を算出 ・年間一律の負荷率で計算 	導入予定設備	• 定格消費電力 • 負荷率	
	計算式や使用する数値を独自に設定してエネルギー使用量を計 算する方法 ・計算手順及び用いた値の根拠を示す証憑の提出が必要 ・独自計算の詳細は、別冊「省エネルギー量計算の手引き(ユーティ リティ設備)【独自計算】」を参照	既存設備	・定格消費電力 ・インバータ制御有無 ・負荷率(INVの場合)	
独自計算	 ※指定計算と同一のSIIが指定する計算式を用いたSII省エネ計 算フォーマット(EXCELファイル)を使用して計算する場合 稼働時間を独自に設定可能 月別に計算を行う 既存設備はカタログ・仕様書の性能値を使用してエネルギー使用 量を算出 導入予定設備の性能値は、製品型番登録された値を使用、もし くはカタログ・仕様書記載の値を使用 選択された温度帯(蒸発温度・庫内温度)以外の能力値を設定 可能 	導入予定設備	• 定格消費電力 • 負荷率	

※既存設備と導入予定設備で、異なる計算方法を用いることはできません。

1-3 指定計算で算出可能な更新パターン

冷凍冷蔵設備(コンデンシングユニット、冷凍冷蔵ユニット)の省エネルギー量計算は、以下のパターンの更新を行う場合のみ、指定計算を行うことができます。



1-4 指定計算を選択できない条件

以下に該当する場合、指定計算を選択することはできません。必ず独自計算を選択してください。

- ・ 年間の稼働時間を24h×365日以外の条件で計算する場合。
- 型番登録された温度帯以外の温度帯で計算をする場合。
- 導入前後で冷凍能力に大きな変動がある場合。
- 月毎に負荷率を変更して計算を行う場合。
- そのほか独自の計算方法を使用する場合。

1-5 計算時の注意事項

- ・ <u>稼働時間</u>は、計算方法に関わらず「<u>設備の更新前後で同じ</u>」前提で計算してください。
- ・ 冷凍機別置型ショーケース等を導入する場合、これらの付帯設備分のエネルギー使用量は、導入前後ともに計算に加味しないでください。
- 指定計算を使用して計算した既存設備、及び導入予定設備それぞれの計算結果が適切な値であることを必ず確認してください。
 特に、既存設備の計算結果については、事業所全体のエネルギー使用量を示す検針票・請求書等の実績値と 比較し、事業所全体に対する割合が適切か確認してください。

第2章 ポータル登録について

2-1 既存設備の登録

既存設備情報の登録

「既存設備登録画面」の項目を示します。カタログ・仕様書・銘板等を確認し、誤りがないように入力してください。

<申請書詳細 画面>

- 「申請書詳細 画面」を一番下までスクロールし、「省エネルギー効果計算(総括)」で、データを入力する設備区分毎の「詳細」をクリックします。
- ②「設備区分情報詳細 画面」が開いたら、次ページ以降の手順に沿って設備情報を登録します。

● 設備区分情報詳細 画面					
	「既存設備	1登録」をクリック			
※設備を追加する		加する場合は、保存後再度クリック			
導入予定設備登録	既存設備登録	荐锄杂件登録			
		されます。			
<既存設備登録 画面>	>	を選択後「確定」をクリック			
区分·分類		→ 既存設備情報を入力する画面を表示			
	1 設備区分	冷凍冷蔵設備)		
区分・分類	2 種別*				
設備情報					
	3 メーカー	××株式会社			
	4 製品名*	オールドコンデ			
設備情報	5 型番	OLD-CONUT0123			
	6 台数*	1台			
	7 設置在*				
		※固定資産管理台帳に記載されている既存設備の設置年(取得年)を選択してください			
	8 冷凍能力*	50 kW			
その他仕様	9 消費電力*	14 kW			
	10 呼称出力	45 kW			
			;		
運転条件	111インバータ制御*	□ □ 入力後「保存」をクリ	ック		
	12 負荷率*	73.0 %			
		庆@ 保存			

2-1 既存設備の登録

下表の説明を参考に、既存設備情報を入力します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	設備区分	自動表示	選択した設備が自動表示される。	
2	種別	プルダウン	「コンデンシングユニット」または「冷凍冷 蔵ユニット」を選択する。	
3	メーカー	手入力	既存設備のメーカー名を入力する。	製品カタログ、仕様書、既存設備の 銘板等を参照。
4	製品名	手入力	既存設備の製品名を入力する。	製品カタログ、仕様書、既存設備の 銘板等を参照。
5	型番	手入力	既存設備の型番を入力する。	製品カタログ、仕様書、既存設備の 銘板等を参照。
6	台数	手入力	既存設備の台数を入力する。	
7	設置年	プルダウン	固定資産管理台帳に記載されている、 既存設備の設置年(取得年)を選択す る。	不明な場合は、設備を設置した建 物が登記された年(不動産登記簿 【権利部(甲区)】に記載)を選択する こと。
8	冷凍能力	手入力	既存設備の仕様情報を入力する。	製品カタログ、仕様書、既存設備の 銘板等を参照。
9	消費電力	手入力	既存設備の仕様情報を入力する	製品カタログ、仕様書、既存設備の 銘板等を参照。
10	呼称出力	手入力	既存設備の仕様情報を入力する	製品カタログ、仕様書、既存設備の 銘板等を参照。
11	インバータ制御	プルダウン	「有り」、又は「無し」を選択する。	製品カタログ、仕様書、既存設備の 銘板等を参照。
12	負荷率	自動表示 または 手入力	既存設備の負荷率を設定する。 11 で「無し」を選択 ⇒73% 11 で「有り」を選択 ⇒手入力	P.19「コンデンシングユニット・冷凍冷 蔵ユニット負荷率」を参照

2-2 導入予定設備の登録

導入予定設備の登録

<設備区分情報詳細 画面>

「設備区分情報詳細 画面」で「導入予定設備登録」-「導入予定設備登録 画面」 種別をプルダウンで選択し、「確定」をクリックしてください。



<導入予定設備詳細 画面>

区分·分類				
60.0	設備区分	冷凍冷蔵設備		
区方、方類	種別*	コンデンシングユニット	面の「基準表」参照)	
設備情報				
	型番マスタ	型番マスタ検索		
	1-1 メーカー	○○株式会社		
	1-2 製品名	00コンデンシングユニット		
1 設備情報	1-3 型番	NEW-123TMAK	l	,
	圧縮ユニット型番		検索結果で「選択」した	た製品情報が
	リモートコンデンサ型番		自動入力されていること	とを確認
	1-4 台数*	1台 ※入力間違いがないように「見積書」に記載の台数と	∞ 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	れている設備情報が自
	2-1 性能区分1	蒸発温度 −10℃		ご、人刀は个安で9 自荷率は、必ず入力し、
	2-2 基準值1	(COP) 1.33以上	てください)	
	2-3 性能值1	(COP) 1.48		
	2-4 備考			
	3-1 呼称出力	7.30 kW		
	3-2 使用温度带	蒸発温度 -20℃		
3 その他仕様	3-3 用温度帯における) 冷凍能力	10.80 kW		
	3-4 用温度帯における) 消費電力	7.30 kW		
	3-5 電源周波数	7.3		入力後「保存」をクリック
4 運転条件	負荷率*	69 %		
		戻る	保存	
			11	

2-2 導入予定設備の登録

下表の説明を参考に、導入予定設備情報を入力します。

項目	No.	項目名	入力方法	説明
1	1-1	メーカー	自動表示	
設備	1-2	製品名	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。
情報	1-3	型番	自動表示	
	1-4	台数	手入力	当該型番の導入予定台数を入力する。 ※誤入力がないように「見積書」と台数の一致を確認すること。
2	2-1	性能区分1	自動表示	
基準	2-2	基準値1	自動表示	
·要 件	2-3	性能值1	自動表示	
	2-4	備考	自動表示	
	3-1	呼称出力 (kW)	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。 ※表示された定格消費電力を基に指定計算が行われる。
3 その	3-2	使用温度帯 (℃)	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。 ※同一型番で複数の使用温度帯に型番登録されている場合が あるため、実際に使用する温度帯であるか確認すること。 異なる場合は型番を再選択すること。
他 仕 様	3-3	冷凍能力 (kW)	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。
	3-4	消費電力 (kW)	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。
	3-5	電源周波数	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。
4 運転条件	4	負荷率 (%)	手入力	導入予定設備の負荷率を設定する。 ※P.19「コンデンシングユニット・冷凍冷蔵ユニット負荷率」を参照

・「種別」の選択が正しいか、確認してください(公募要領P.56以降の「別表1」参照)。

「型番」の入力誤りがないか、確認してください。
 (文字数の多い型番の場合は、型番名すべてを入力しなくても検索は可能です。
 例: ABC123-LMNxyz → ABC123 で検索する等)

※ 入力誤りがなく検索結果に導入予定設備が表示されない、又は検索結果がない旨のメッセージが表示され る場合は、SIIへお問い合わせください。 第2章 ポータル登録について

2-3 稼働条件の登録

稼働条件の登録

省エネルギー量計算に使用する稼働条件を登録します。

<申請書詳細 画面>



<稼働条件詳細 画面>

● 設備区分情報詳細 画面				
戻る 「稼働条件登録」をクリック 導入予定設備登録 既存設備登録				

<稼働条件登録 画面>

● 稼働条件登録 画面								
				戻る	保存			
	-							
エネルギー使用実績								
エネルギ	一使用実統	1 エネルギー使用量が	既存設備の使用実態は 実態に基づき登録して	基づいているか確認した上で、 ているか*	(はい ~]		
エネルギー使用 既存設備のエ	月量が既存詰 ネルギー使用	8備の使用実態に基づ 月量は、事業所全体のよりです。 スカオ	条件追加」 を 闘が表示される	クリックすると 🕺 🧰	師全体に対する割合が近	意切であるか確認してくだ?	さい	
稼働条件		7777		N 9				
1 1<								
稼働系	≹件追加							
No.	削除 選択	4 稼働条件名*	計算方法	種別	5	使用温度带*		
1		厨房	指定計算	冷蔵庫/冷凍冷蔵庫/冷凍加	μ (Line)			
2		売り場	指定計算	コンデンシングユニット	蒸到	這度 -10℃ ✔		
	1							
				—	(D <i>+</i> -			
				庆 句	休仔			
		「 削郎 すると ます	(選択 」にチェッ 、対象の稼働	ックを入れて保存)条件が削除され	入力後「	呆存」をクリック]	

2-3 稼働条件の登録

下表の説明を参考に、計算時に使用する稼働条件を登録します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	エネルギー使用実績 プルダウン		エネルギー使用量が既存設備の使用 実態に基づいているか確認し、「はい」 を選択してください。	既存設備のエネルギー使用量は、事業所 全体のエネルギー使用量を示す検針票や 請求書等の実績値と比較し、事業所全体 に対する割合が適切であるか確認してくだ さい。
2	計算方法	プルダウン	「指定計算」を選択する。	
3	種別	プルダウン	「コンデンシングユニット」または「冷凍 冷蔵ユニット」を選択する。	
4	稼働条件名	手入力	稼働条件ごとに識別用の名称を設 定する。	
5	使用温度帯	プルダウン	「蒸発温度 -10℃」、「蒸発温度 - 20℃」、「蒸発温度 -30℃」、 「蒸発温度 -40℃」、「庫内温度 10℃」、「庫内温度 5℃」、「庫内温 度 0℃」、「庫内温度 -20℃」、「庫 内温度 -25℃」から該当する蒸発温 度帯を選択する。	3 で「コンデンシングユニット」を選択した場合は蒸発温度が、「冷凍冷蔵ユニット」を 選択した場合は庫内温度が表示されます。

第3章 必要添付書類

3-1 必要添付書類

必要添付書類

省エネルギー量計算の過程及び結果の証憑書類として、計算方法に応じて下表に示す証憑書類を提出してください。

No.	計算	算方法 提出が必要となる証憑書類		交付申請書類
Her	指定	独自		(公募要領 提出書類一覧」参照)
1	0	0	既存設備の仕様(定格消費電力等)の根拠書類 ※1、※2 例)既存設備の製品カタログ 必要な能力値等を示せる資料(仕様書等)	【添付18】
2	0	0	既存設備・導入予定設備の平均負荷率の根拠 ※3 例) 運転日報等、設備の平均負荷率が記載された資料	設備の製品カタログ/設備の仕様書
3		0	エネルギー使用量の計算過程 ※ 4 例)計算過程説明書(計算式含む)	
4		0	エネルギー使用量の計算根拠 ※5 例)導入予定設備製品カタログ、仕様書等 既存設備の運転日報 エネルギー使用量計測値、請求書	【添付6】 省エネルギー量独自計算書

- ※1 該当する箇所に蛍光マーカー等で印をつけ、転記した箇所がわかるようにしてください。
- ※2 カタログ・仕様書に、設備の仕様情報が不足している場合は、メーカー等に相談のうえ、必要情報の記載がある 証憑書類を用意してください。
- ※3 P.19「コンデンシングユニット・冷凍冷蔵ユニット負荷率」に記載されている負荷率を使用した場合は、 添付不要です。
- ※ 4 <u>第三者にもわかるように独自計算の考え方と計算過程を説明し、計算に用いる数値の根拠について記載してく</u> ださい。
- ※5 計算に用いた性能値、実測値、稼働条件(時間、負荷率等)等の根拠書類を必ず添付してください。

第4章 設備種別毎の計算式と使用データについて

<参考> コンデンシングユニット・冷凍冷蔵ユニット用計算式と使用データ

コンデンシングユニット・冷凍冷蔵ユニットの指定計算の計算手順と計算式について

コンデンシングユニット・冷凍冷蔵ユニットの指定計算・SII省エネ計算フォーマットについては、下記の考えに基づき、補助事業 ポータルで計算を行っています。



3. 省エネルギー量算出の計算

1.~2.までの計算を実施し、各々の原油換算使用量を求める。 既存・導入予定設備の差分を省エネルギー量とする。

<参考> コンデンシングユニット・冷凍冷蔵ユニット用計算式と使用データ

コンデンシングユニット・冷凍冷蔵ユニット負荷率

種別	インバータ/一定速	温度带	負荷率
コンデンシングユニット	_インバータ機 (または5段階制御)	蒸発温度 -20℃以上	65%
		蒸発温度 -20℃未満	69%
冷凍冷蔵ユニット		高温·低温(冷蔵用)	65%
		低温(冷凍用)	69%
共通	一定速機	温度条件なし	73%

※表記載の負荷率は、室内に設置する別置型ショーケースに接続した場合を前提としています。 それ以外の場合は、事前にメーカーと相談する等して、使用実態に即した負荷率を算出し入力してください。

※表記載の負荷率は、導入前後の設備の能力値が同等であることを前提としています。導入前後の設備で能力 増減がある場合は、増減分を加味して負荷率を入力してください。

お問い合わせ・相談・連絡窓口

一般社団法人 環境共創イニシアチブ 省エネルギー投資促進支援事業費補助金

補助金申請に関するお問い合わせ窓口

TEL:0570-075-900(ナビダイヤル) 042-204-1081(IP電話からのご連絡)

受付時間:平日の10:00~12:00、13:00~17:00 (土曜、日曜、祝日を除く) 通話料がかかりますのでご注意ください。



SIIホームページURLhttps://sii.or.jp/事業ページURLhttps://sii.or.jp/cutback03r